

# 希望の鐘

第209号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

文責：校長 佐々木

## 歌えるってすばらしい ～合唱発表会を終えて～



合唱練習が始まると、「学級担任っていいなあ。」とうらやましくなります。合唱練習を通して切磋琢磨したり、ぶつかり合いながらも成長したりすることを、学級担任が一番近くで感じられるからです。

また、中学生の合唱には気持ちが表れるところもいいなと思っています。たとえ音程が揺れていても、気持ちが乗っている合唱だとそんなことが気にならなくなるのです。気持ちが技術を超える瞬間って、ほんとうにあるんです。

10月14日に行われた本校の合唱発表会。様々な状況から全校生徒が同じ場所で合唱を聞き合うことはなかった過去2年間のことを考えれば、今回は行事が「戻ってきた」と感じられるひとときとなりました。

《1年生》「音を楽しむと書いて音楽」ということを思い切り表現してくれた合唱でした。



合唱前のポーズも決まって楽しそうですねです。

変声期を経て、落ち着いてくる来年は、さらに素晴らしい歌声を響かせてくれることでしょう。

今から楽しみです。

《2年生》

人数が一番多い2年生。様々な個性がぶつかり合って、当日を迎えるまでいくつもの山を乗り越えてきたようです。

2年生ではありますが、この形式での合唱発表会は初めてです。声質がまとまっているので、体育館の後ろまで歌詞がまっすぐに聞こえてきました。



来年に期待をもたせてくれる歌声でした。

《3年生》

実は3年生も、今回の形式での合唱発表会は初めてでした。他の学年の合唱を聞いているとき、どのような心情だったのでしょうか。緊張感が高まっていたのでしょうか、それとも楽しんで聞くことができたのでしょうか。



2曲ともいい曲だなと思って聞いていました。それだけ、聴衆に訴える思いが歌声に乗っていたといえるでしょう。

合唱が始まる前のアナウンスで、「このメンバーで歌うのもあと数回です。」という言葉があり、全員が歌詞を噛みしめながら歌ってくれました。

合唱発表会の最後を飾るにふさわしい、そして、1, 2年生に良い刺激を与えてくれた、温かい合唱でした。

この合唱発表会が成功できたのも、忙しい中皆さんの合唱を聞くために時間を割いてくださった、地域の皆様、そして保護者の方々のおかげです。ありがとうございました。

来週はいよいよ文化祭。これまでの学習や行事での成長の証、小中野中生の文化面での頑張りにどうぞ御期待ください。

## 新時代を担う

### 生徒会役員選挙



10月4日(火)今年度後期から小中野中学校を担うことになる生徒会役員選挙が行われました。

選挙に先立って行われた立会演説会では、会長候補(1名)副会長候補(2名)書記候補(各学年3名)の生徒が、立候補の理由やどのような学校にしたいかなどを全校生徒の前で表明しました。その中で最も多かったのが、「居心地の良い学校にしたい」という言葉でした。

居心地が良い学校であれば、生徒がもっと輝くと考えたとのこと。

「安心して失敗できる」ということに通じる思いを感じました

どの候補者もまた、候補者の人となりを紹介した

応援演説の生徒も、明快な話し方と堂々とした態度で感心しました。

生徒会役員の仕事を知るために、文化祭の準備から活動に参加します。

ぜひ、「居心地が良い学校」となるよう、全校一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。



次号は  
文化祭特集になる予定です。  
乞う御期待！



## 文化祭に向けて **お願い**

### 1 当日の保護者の入場制限について

以前おたよりでお知らせしましたが、保護者様のみのお来校をお願いしております。

新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いていますが、全校生徒もステージ発表を觀賞することから、体育館内の蜜を避けるための対策です。御理解ください。

### 2 当日の休憩場所について

2階に休憩場所を用意いたしますが、飲食はできませんので御了承ください。飲食物も予約販売のみで、当日販売はありません。

### 3 御来校について

柔剣道場前を駐車スペースとしております。近隣の御迷惑とならないよう御配慮のほどお願いいたします。それ以外の場所への駐車は控えてくださるようお願いいたします。

